

固定資産管理システム

固定資産奉行[®]クラウド

固定資産管理の実務に細やかに対応し生産性を向上!

固定資産・
リース資産管理を
フルカバー

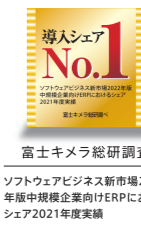
実務に即した
細やかな
業務対応

データ連携で
業務がラクに

業務クラウド国内No.1ブランド
国内企業 累計69万社導入

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

おかげさまで多くの企業に選ばれています



初めてクラウドを導入する企業でも安心

奉行クラウドは、
安心・安全な業務環境で
業務のデジタル化を
実現します

奉行クラウドは、クラウドの基盤に世界トップレベルのセキュリティを誇るMicrosoft Azureを採用し、安心・安全な業務環境を提供しつつ、クラウドならではの「業務のデジタル化」を実現し、企業の生産性向上に貢献します。

生産性は上げたいけど
今の業務は変えられないし
難しいことは苦手…。



奉行クラウドなら

かんたんに
デジタル化
できる



いつも行っている紙や手作業での業務を、デジタルに置きかえることで、業務時間を大幅に削減します。奉行クラウドを活用して手段を変えるだけで、かんたんに業務の精度や生産性を上げることができます。

効率化されても、今やっている
業務ができなくなったら困る！
業務の質は落とせない。



奉行クラウドなら

高レベルの
処理機能で
従来の業務が
きちんとできる



40年以上、多くのユーザー企業と共に成長させてきた「奉行シリーズ」の機能性・操作性を踏襲し、高いレベルの業務をクラウドでも実現しています。インストール型のシステム以上の処理機能で、従来の業務をきちんと行っていただけます。

急速にデジタル化するのは不安。
こんな自社にも奉行クラウドを
使いこなせる？



奉行クラウドなら

お客様のペースで
徐々にデジタル化
できる



奉行クラウドは幅広い業務を網羅しており、部分的、段階的に利用していただけます。お客様のペースでデジタル化を進められるよう、従来の業務のやり方を両立しながら、新しい業務のデジタル化を始められるため、すべての企業がデジタル化を実践していただけます。

奉行クラウドの
5つの特長

納得の品質と、
この上ない安心を
ご提供します

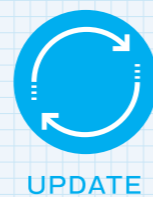
① 安心・安全

クラウドの基盤に、世界トップレベルのセキュリティを誇るMicrosoft Azureを採用し、安心・安全な業務環境をご提供しています。



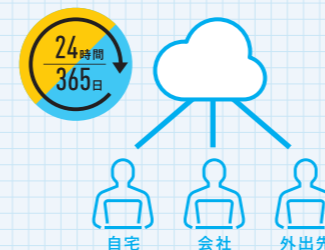
② 高いサービス品質

機能性・操作性・スピードのすべてにおいて、常に「今まで以上」の品質を追求しています。



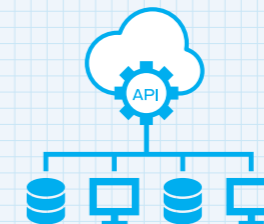
③ いつでもどこでも

24時間365日いつでも、どこにいても変わらない業務ができる環境をご提供しています。



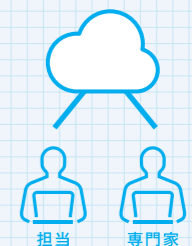
④ つながるひろがる

奉行クラウドは、様々なサービスとつながることができます。データの連携により、生産性と精度を向上します。



⑤ 専門家ライセンス付き

税理士や社会保険労務士などの専門家と一緒に使えるライセンスを無償提供しています。





固定資産管理の 実務に網羅的に対応し、 データや人とつ ながって生産性を向上

固定資産奉行クラウドが叶える3つのこと



二重入力や
二重管理が
なくなる！



きちんと
細やかな
管理が
できる！



データがつながり、手作業が大幅に減る！

1 固定資産・リース資産の 管理をフルカバー

固定資産やリース資産情報を一元管理でき、償却額・リース料支払額等の自動計算から、資産台帳や申告書の自動作成、複雑な会計処理・仕訳データ作成までワンシステムで対応できます。

2 実務に 即した細やかな 業務対 応を実現

実務に即した資産の多様なライフサイクル管理や、様々な償却方法への対応、除却/売却時の償却額の計上要件への対応など、企業に必要な業務要件にきちんと対応でき、細やかな管理が可能です。

3 つながることで 生産性を向上

クラウドで固定資産管理業務をデジタル化することで、データと社内全体がつながり、リアルタイムにデータが共有されるため、業務の精度と生産性が向上します。

固定資産管理の実務に きめ細やかに対応

固定資産奉行クラウドは、固定資産やリース資産に関する情報をすべて一元化でき、複雑な会計処理から申告業務までの実務にきめ細やかに対応しています。

固定資産管理業務のデジタル化により、 業務全体の生産性が向上します

固定資産奉行クラウドなら、クラウドで社内全体がつながることで、資産購入から決算・申告業務まで固定資産管理業務の生産性が向上します。

固定資産管理 	リース資産管理 
資産登録 ●個別入力 ●一括入力 ●外部データ取込 ●資産コード自動付番	
固定資産管理 <ul style="list-style-type: none"> ●画像・ファイル管理 ●減価償却費管理 ●移動履歴管理 ●除却/売却 ●一部移動/一部除却 ●有姿除却/遊休 ●償却方法変更履歴 ●特別償却/割増償却 ●圧縮記帳 ●資本的支出 ●資産ラベル 	リース資産管理 <ul style="list-style-type: none"> ●リース契約情報管理 ●再リース/解約 ●リース料自動計算 ●フルペイアウト自動判定 ●元本返済額自動計算 ●利息相当額自動計算 ●月次支払/債務 ●資産ラベル
固定資産管理帳票 <ul style="list-style-type: none"> ●固定資産台帳 ●取得資産台帳 ●除却資産台帳 ●移動資産台帳 ●償却済資産台帳 ●圧縮記帳資産台帳 ●償却予定表 ●月次償却額一覧表 	リース資産管理帳票 <ul style="list-style-type: none"> ●リース資産情報台帳 ●リース取引一覧表 ●リース料支払一覧表 ●リース債務一覧表 ●リース料支払予定表
会計処理への対応 	決算・申告業務/納税 
減損会計	注記情報リスト
仕訳データ連携 <ul style="list-style-type: none"> ●減価償却費の計上 ●資産の計上/移動/除却/売却 ●圧縮額の計上 ●圧縮積立金の取崩 ●リース料の支払 ●ファイナンスリースの取引 ●減損損失の計上 など 	償却資産申告書/種類別明細書
運用管理 <ul style="list-style-type: none"> ●利用者登録 ●メニュー権限 ●部門権限* ●帳票パターン権限* ●資産承認* 	電子申告 <ul style="list-style-type: none"> ●別表十六(一) ●別表十六(二) ●別表十六(四) ●別表十六(六) ●別表十六(七) ●別表十六(八)
	別表十六作成
	申告データ連携 ●別表十六 ●固定資産の内訳書

※対応予定



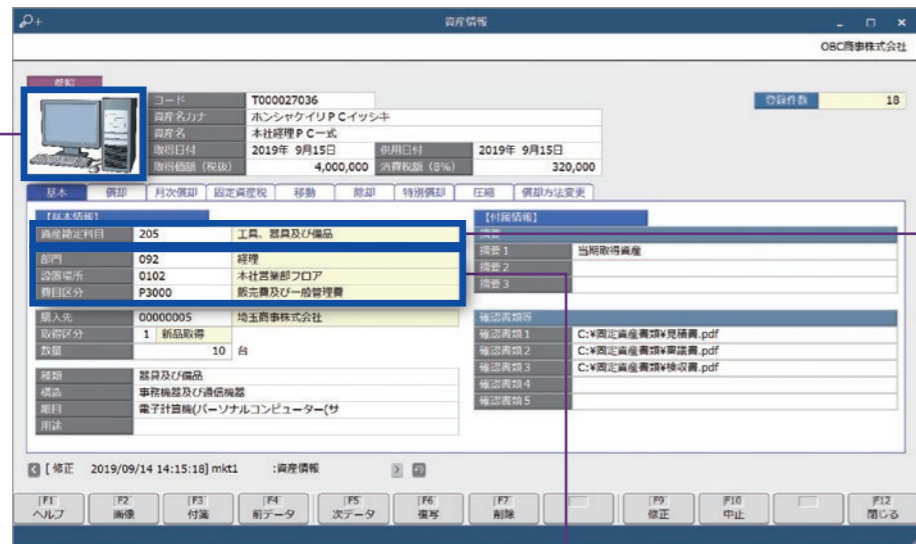


固定資産管理

企業が保有するあらゆる固定資産の現物情報を管理でき、資産の取得から移動、除却/売却までのライフサイクルの管理も行えます。

あらゆる種類の固定資産情報を詳細に一元管理

資産の現物管理に必要な情報を、豊富な管理項目により一元管理できます。現物の写真・稟議書などの関連ファイルから、部門・設置場所などの所在情報も細やかに登録可能です。



さまざまな資産管理に対応

有形・無形はもちろんのこと、繰延資産や非償却資産、消耗品などさまざまな資産の管理に対応しています。

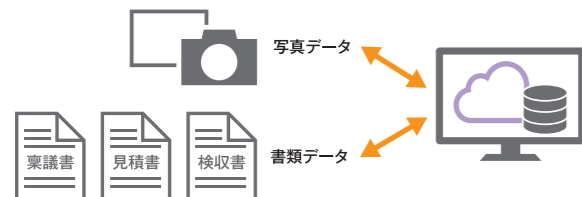
管理可能な資産種類

- 有形固定資産 (建物・機械装置等)
- 無形固定資産 (ソフトウェア等)
- 繰延資産 (開業費・開発費等)
- 非償却資産(土地等)
- 消耗品
- リース物件



画像や書類データを無制限にクラウド保管

現物管理に欠かせない資産の写真や、見積書・稟議書・検収書などのスキャンデータを一元管理でき、ワンクリックでデータを確認できます。サーバー上のデータや紙の書類を探す無駄な時間がなくなります。



資産の所在や費目・購入先など詳細に管理

資産を所有する部門や設置場所の登録が行え、正確な所在管理が行えます。販売費及び一般管理費・製造経費などの費目も管理でき、資産台帳での集計軸としても活用できます。

管理項目一覧

- 資産勘定科目
- 部門
- 設置場所
- 費目区分
- 購入先
- 資産種類
- 構造
- 細目
- 用途
- 摘要1
- 摘要2
- 摘要3

必要最低限の資産情報を登録するだけで、償却額や簿価などを自動計算

資産勘定科目や資産種類・構造・細目を選ぶだけで、最新の税制に基づいた耐用年数と償却率が自動セットされ、償却額を算出して管理できます。特別な状況により発生した償却計算などは、必要に応じて自動計算せずに手入力も可能です。

資産勘定科目を選択するだけで、費目区分や資産種類などを自動表示(初期値表示)

普通償却額や当期償却額、償却累計額など、すべて自動計算

構造・細目は候補が自動表示され、耐用年数辞書にて検索・設定も可能

基本	償却	月次償却	固定資産税	移動	除却
【減価償却情報】					
償却方法	2	200%定率法			
耐用年数	5	年	0.400		
償却率			1		
期首帳簿価額			639,450		639,450
定率改定取得価額			0		0
算出償却額			255,780		255,780
増加償却額	0.0%		0		0
普通償却額			255,780		255,780
当期償却額			255,780		255,780
			期末帳簿価額		383,670
			償却累計額		705,764

実務に必要なすべての償却方法を網羅

税制で求められるさまざまな償却方法に対応しています。新旧定率法/定額法はもちろん、三年一括償却や繰延資産など、さまざまな償却方法に細やかに対応しています。

償却方法

- 定額法
- 200%定率法
- 250%定率法
- 旧定額法
- 旧定率法
- 三年一括償却
- のれん償却
- 繰延資産
- 税法繰延資産
- 消耗品
- 少額資産(中小企業)
- リース期間定額法
- 非償却

“ココ”が細やか!

クラウドだから、自動アップデートで常に最新の税制に対応できて安心

定期的に行われる税制改正にもプログラムが自動更新されるため、常に正しい償却率や計算方法で管理することができます。また、ダッシュボード上から最新の税制改正情報を教えてくれるため、制度改正に気を遣う必要がなくなります。



月次決算に必要な償却額を自動計算

年間償却額を月別に自動按分することができます。さらに手入力することも可能です。増加償却額も月別に自動計算されるため、計算作業は一切不要です。

基本	償却	月次償却	固定資産税	移動	除却	特別償却	圧縮	償却方法変更
【月次償却額情報】								
		税務		会計				
		算出償却額	増加償却額	算出償却額	増加償却額			
2019年 4月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 5月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 6月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 7月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 8月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 9月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 10月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 11月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2019年 12月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2020年 1月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2020年 2月		155,816	15,581	155,816	15,581			
2020年 3月		155,819	15,588	155,819	15,588			

月別の算出償却額や増加償却額を自動計算

資産管理ラベル貼付で現物実査をより正確に

資産コード等が記載された資産管理ラベルをワンタッチで印刷し、資産に貼付することができるので、ラベルを確認するだけで現物実査がより正確に行えます。

“ココ”が細やか!

取得から移動・除却・売却までのライフサイクルを詳細に管理 資産数が多くても、一括処理で効率的な業務を実現

資産を取得してから除却するまでの一連の処理に対応し、各処理ごとの詳細な情報をすべて一元管理できます。取得や移動などの処理や償却方法の変更は、画面上から一括登録・変更でき、データ取込によりまとめて登録することも可能です。

資産のコード

付番方法

自動付番

手入力

付番ルール

資産勘定科目コード 固定文字 (S) 連番

サンプル

200-S-0001

開始コードをあらかじめ設定

取得年月 固定文字

リース資産のコード

資産と同じ付番ルールにする

資産コード自動付番で効率的に資産登録

資産を管理するためのコードは、資産勘定科目コードや購入年月日、任意の文字などを使用し、独自のルールをもとに自動付番できます。資産登録の際に手入力する必要がなくなります。

“ココ”が細やか!

コード	資産名	取得日付	使用日付	取得価額	消費総額
0002001001	本社ビル	2003年 6月 1日	2003年 6月 1日	368,700,000	18,435,000
0002002001	札幌工場建物新設 (当期取得)	2019年10月15日	2019年10月15日	349,870,000	34,987,000
0002031001	名古屋工場検査機器	2011年 8月 1日	2011年 8月 1日	23,457,000	1,172,850
0002031002	札幌工場検査機器 (当期取得)	2019年 4月 3日	2019年 4月 3日	5,615,000	449,200
0002041001	広島配送トラック (当期取得)	2019年11月10日	2019年11月10日	3,456,000	345,600
0002041002	広島営業車両 (5年均等償却/売却)	2006年 8月 9日	2006年 8月 9日	2,145,600	107,280
0002041010	フォークリフト (5年均等償却)	2006年11月26日	2006年11月26日	3,145,000	157,250
0002051001	本社経理PC一式 (5年均等償却)	2007年 3月 1日	2007年 3月 1日	4,500,000	225,000
0002051002	デジタル複合機 (移動)	2017年 1月20日	2017年 1月20日	1,278,900	102,312
0002051003	ショールーム用ノートPC(償却済)	2011年 7月15日	2011年 7月15日	3,300,000	165,000



データインポートによる一括登録も行え、現在利用しているシステムから簡単に移管できます

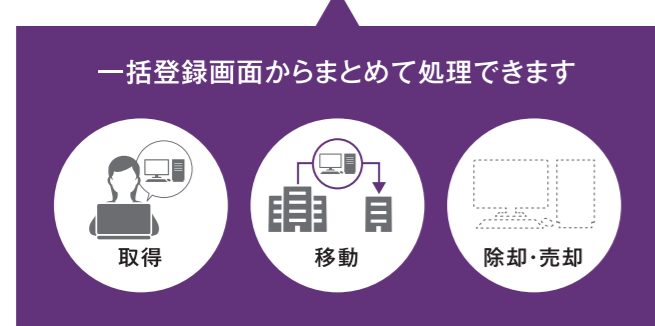
- 基本情報 (資産名・帳簿価額など)
- 移動履歴
- 圧縮記帳情報
- 画像情報 など

資産区分	償却方法	耐用年数
200 建物	P3000 販売費及び一般管理費 1 定額法	0 年
201 建物付機設備	P3000 販売費及び一般管理費 1 定額法	0 年
202 構築物	P3000 販売費及び一般管理費 1 定額法	0 年
203 機械及び装置	P3000 販売費及び一般管理費 2 200%定率法	0 年
204 車両運搬具	P3000 販売費及び一般管理費 2 200%定率法	0 年
205 工具、器具及び備品	P3000 販売費及び一般管理費 2 200%定率法	0 年
215 リース資産	P3000 販売費及び一般管理費 0 非償却	0 年
220 土地	P3000 販売費及び一般管理費 0 非償却	0 年

自動表示

初期値の自動表示で資産登録の時間を短縮

資産登録の際の償却方法や耐用年数・費目区分などの初期値を、資産勘定科目ごとにあらかじめ設定し自動表示できます。資産登録の手間を減らしつつ、より正確に登録いただけます。



資産のすべての移動履歴を細やかに記録

部門、設置場所、費目区分の移動処理が行えます。取得から現在までの移動履歴が管理され、履歴情報は帳票あるいは検索用のデータとして利用できます。また、会計システムとの連携時には、移動履歴の費目区分などを加味した正確な仕訳データの作成が可能です。

取得日付	取得部門	取得設置場所	資産区分	移動履歴
2017年 1月20日	051 大阪支店	5101 大阪ビル事務所	C1300 製造経費	
2019年10月 1日	041 名古屋支店	4102 名古屋工場検査機	P3000 販売費及び一般管理費	1 移動先で計上
年月日				1 移動先で計上

複数回の移動履歴管理に対応しています。固定資産の計上部門だけ移動処理を行うこともでき、移動月の償却額を移動元・移動先のどちらで計上するかも設定できます。

“ココ”が細やか!

除却・売却管理から有姿除却まで網羅的に対応

除却処理では、処分費用・売却価額に基づいて除却/売却損益を自動計上し、除却時の簿価指定も可能です。有姿除却では、貯蔵品計上・貯蔵品除却まで対応しています。

除却/売却時の償却費の計上方法

企業にとって必要な、除却/売却時の償却費の計上要件にも細やかに対応できます。

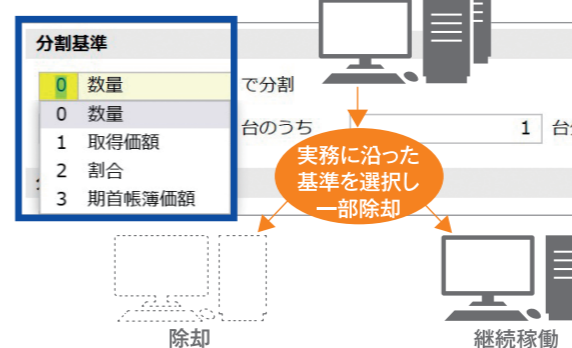
- 前期末まで計上
- 前中間決算期末まで計上
- 除却月まで計上
- 前四半期末まで計上
- 除却月の前月末まで計上

“ココ”が細やか!

【除却・売却情報】	
除却日付	2019年 8月10日
除却事由	2 除却
償却費の計上	1 除却月まで
処分	処分費用 (税抜) 100,000
	消費税額 8,000
	支払先 00000002 株式会社岩手産業
売却	売却価額 (税抜) 0
	消費税額 0
	売却先 00000000 その他
除却・売却損益	-223,205

実務上必要な、資産の一部除却・移動に対応

資産の一部除却や一部移動に対し、細やかに対応できます。一部除却・移動を行う基準は、数量・取得価額・割合などの実務に沿った基準から選択いただけます。



特別償却・割増償却に対応 複雑な計算は不要に

特別償却・割増償却に対応し、会計処理は「償却方式」と「準備金方式」を選択できます。準備金方式の場合、当期の特別償却準備金の積立額・取崩額が自動計算され、取崩経過年数管理が可能です。

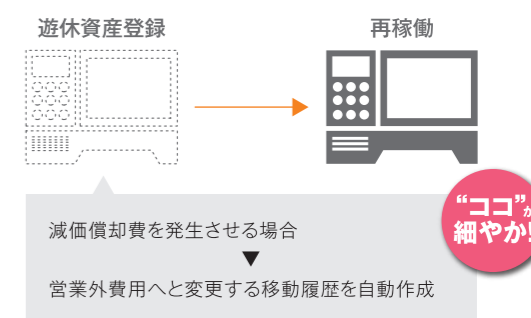
【特別償却情報】	
特別償却区分	1 特別償却
会計処理方法	0 準備金方式
適用率	未 項
基準取得価額	100 % 56,784,500
特別償却率	30 %

当期計上額	
適用年数	1 1年目
前期繰越積立不足額	0
準備金積立限度額	17,035,350
特別償却準備金積立額	17,035,350
翌期繰越積立不足額	0

会計処理方法は、償却方式と準備金方式を選択可能

資産の遊休や再稼働の管理も細やかに対応

資産の遊休開始、再稼働の管理が可能です。遊休期間中も減価償却費を発生させる場合には、営業外費用へと変更する移動履歴が自動で作成されます。



“ココ”が細やか!

圧縮記帳に対応でき、面倒な償却費は自動計算

圧縮記帳では、「積立金方式」「直接減額方式」に対応でき、差引取得価額をもとに償却額を自動計算します。積立金方式では、圧縮積立金の取崩額が自動計算されるため、面倒な計算作業は必要ありません。

【圧縮記帳履歴情報】			
圧縮記帳区分	2 積立金方式		
No.	圧縮記帳日付	補助金等の額	圧縮額
1	2019年 5月 5日	500,000	500,000
2	年月日	0	0
合計		500,000	500,000
差引取得価額		1,956,300	1,956,300

期首積立金残高	0
当期積立額	500,000
償却超過額	27,042
当期取崩額	27,042
期末積立金残高	472,958

積立金方式と直接減額方式を選択可能

資本的支出の資産を管理でき、合算特例にも対応

資本的支出は、本体の資産とは別の独立した資産として登録することで管理いただけます。また、資本的支出の取得価額の合算特例にも対応でき、履歴を管理できます。



リース資産管理

企業が保有するあらゆるリース資産の契約・物件情報を詳細に管理でき、資産の移動や再リースなどのライフサイクル管理も行えます。

多様なリース契約情報から、再リースなどのライフサイクルまで詳細に一元管理

契約期間、基本リース料、維持管理費用などの契約情報から、画像・部門・設置場所などの物件情報までデータで一元管理できます。また、再リース・契約解除などリース契約のライフサイクル管理が行えるため、契約書を都度見なくても、契約内容や条件を即座に把握できます。

Sシステム

“ココ”が細やか!

物件情報
画像や契約書などの書類データ、部門・設置場所・費目区分など一元管理

リース期間、支払回数、維持管理費用、前払リース料など細やかに管理

ライフサイクル管理
移動や再リース履歴・契約終了などのライフサイクルを詳細に管理

契約書通りの情報を登録するだけで、月次支払額や減価償却などすべて自動計算されます。

複雑なリース会計基準を自動判定

Sシステム

リース会計基準にしたがって、中途解約の可否やフルペイアウト判定情報から、オペレーティングリース/ファイナンスリースや所有権移転の自動判定が可能です。

見積現金購入価額とリース料総額現在価値から、取得価額を自動計算

税理士の指示や自社で決定した取得価額を手入力することも可能です

元本返済額や利息相当額を自動計算

Sシステム

元本返済額と利息相当額を自動計算でき、消費税債務を計上する場合は、契約時に計上されている消費税債務を支払の都度取り崩します。

元利計算だけでなく、各支払時に取り崩す消費税債務も自動算定



帳票作成

固定資産台帳をはじめ、一元管理された固定資産のデータを最大限に活用できる帳簿価額作成を実現しています。

資産台帳をかたん・自動作成簿価などの確認をスピーディーに

資産登録を行うだけで、さまざまな台帳・一覧表をリアルタイムに出力できます。集計の用途に応じた資産台帳が用意されており、出力する際の条件設定も細かく設定できるため、減価償却費や帳簿価額、資産移動による増加額/減少額などを見たい単位で即座に把握できます。

資産データの追跡や調査、修正も迅速に
資産の明細表から資産情報の画面へワンタッチでジャンプできます。資産データの追跡調査や、資産情報の修正などを迅速に行えます。

資産情報画面へ

実務に必要な資産台帳や一覧表のパターンをあらかじめご用意

〈固定資産〉

- 固定資産台帳
- 取得資産台帳
- 除却資産台帳
- 移動資産台帳
- 償却資産台帳

〈リース資産〉

- リース資産情報リスト
- リース取引一覧表
- リース料支払一覧表
- リース債務一覧表

Sシステム

実務に合った集計方法とレイアウトに細やかに対応

固定資産台帳は、科目別などの集計軸や出力したい資産情報など、自社の実務に応じて自由に選択して出力できます。また、出力段数や列ごとの出力項目など、台帳のレイアウトも細やかに調整することが可能です。

集計軸の選択
第1項目 指定なし
第2項目 指定なし
第3項目 科目区分
第4項目 資産勘定科目
第5項目 部門

資産情報の選択
選択済項目
項目名
非償却
定額法
200%定率法
250%定率法
旧定額法
旧定率法
リース期間定額法
税法繰延資産

金額の出力方法
移動資産の取得価額
● 移動先に出力する
○ 移動先に出力する
除却資産の取得価額・償却累計額
○ 出力する
● 0にする

台帳レイアウトの調整
〈調整可能な項目〉 ● 段数 ● 列数 ● 固定位置 ● 各列ごとの出力項目

“ココ”が細やか!



決算・申告業務／納税

決算や税務申告時に必要な書類を瞬時に作成できます。
固定資産税の電子申告にも対応し、忙しい決算・申告業務をスムーズに完了できます。

個別注記表に必要な金額を確認可能

会計計算規則で定められている個別注記表のうち、固定資産に係る注記の金額を即座に出力できます。

償却資産申告書と種類別明細書を瞬時に作成

固定資産税の賦課期間である1月2日～翌年1月1日サイクルでの計算及び増減管理を実現し、固定資産税申告に対応しています。税制の特例に準拠した申告書の作成が可能です。

固定資産税の電子申告に対応 印刷や封入・郵送のコストを削減

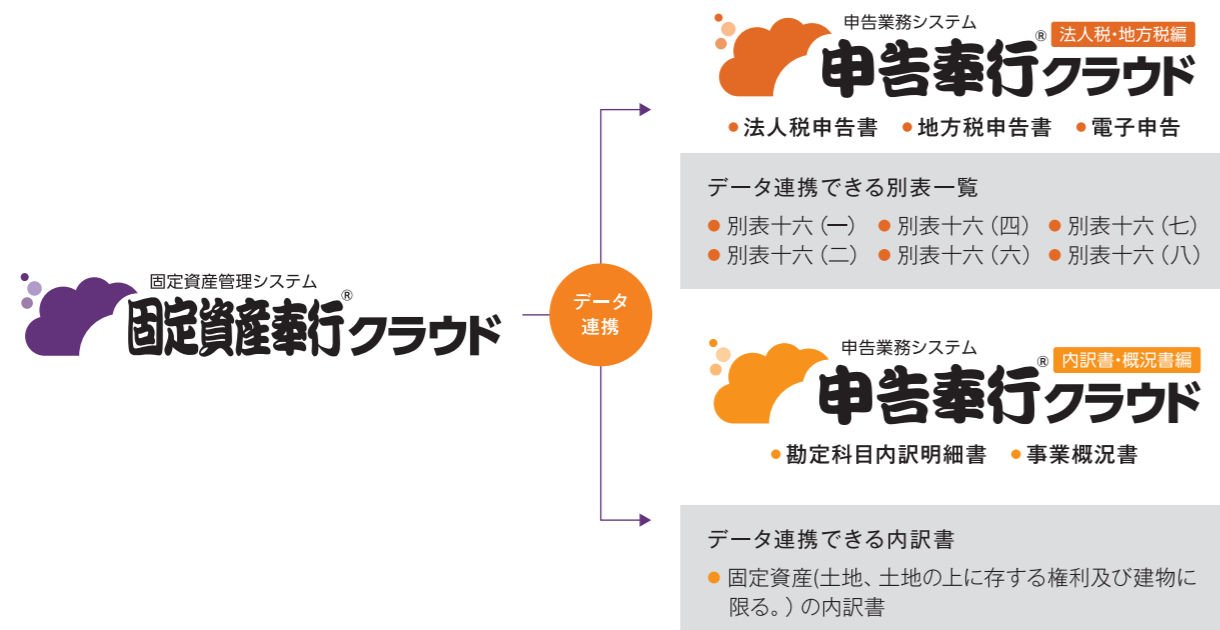
電子申告(eLTAX)に対応しているため、償却資産申告書・種類別明細書を簡単な操作で各市区町村へデータ送信できます。印刷や封入・郵送料にかかるとコストと手間を大幅に削減できます。

※別途インターネット環境と電子証明書をご用意いただく必要があります。



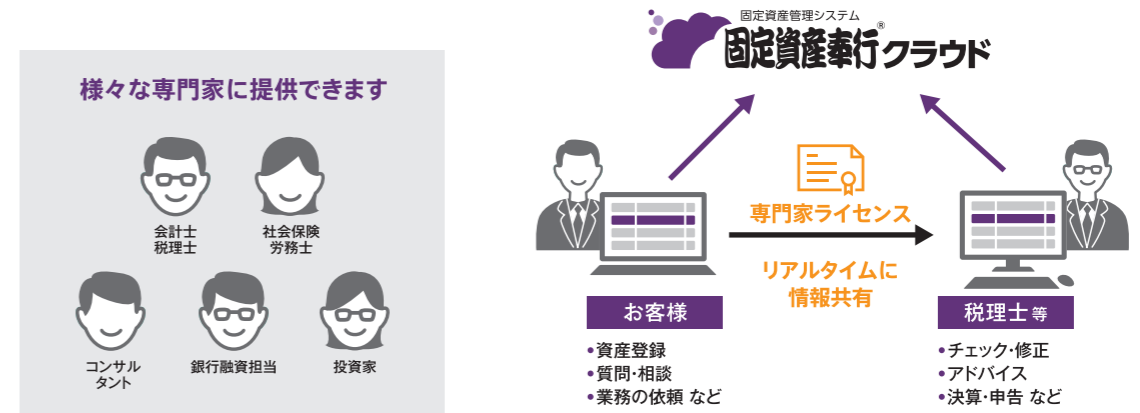
申告奉行クラウドと自動でデータ連携でき、申告業務がもっとらくに

固定資産奉行クラウドの別表十六に関するデータや、勘定科目内訳明細書に関する固定資産台帳データを、申告業務に対応した申告奉行クラウドへ自動で連携することが可能です。申告業務に関わる業務負荷を軽減することができます。



「専門家ライセンス」で税理士と一緒に使える

固定資産奉行クラウドには、顧問の税理士などの専門家に提供できる「専門家ライセンス」が1ライセンス無償で付属しています。専門家にライセンスを提供することで、税理士も固定資産奉行クラウドを利用できるようになり、お客様のデータをすぐに共有できます。



例えば

固定資産の情報を共有する手間がなくなる

新たに固定資産を取得した際や、資産の移動・除却・売却などの動きがあった際にも、最新の固定資産の情報をリアルタイムに共有できます。

最新の固定資産情報をリアルタイムに共有

例えば

いつでも相談でき疑問をすぐ解決

資産取得時の経費按分や、固定資産が消耗品などの種類の判断などで疑問がある時は、同じ画面を見ながら税理士にすぐ相談できます。

同じ画面を見ながら相談

例えば

決算処理や申告業務の依頼もスムーズに

決算整理仕訳の入力や、法人税申告の代行を依頼する場合にも、常に最新の固定資産情報を見ながら迅速に処理してもらえます。

固定資産の情報を利用して業務代行

会計システムへの決算整理仕訳の入力
個別注記表の作成
固定資産税の申告
法人税申告 など

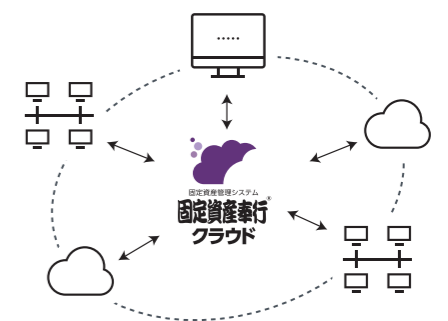
データ連携

最新のクラウドサービスとAPIにより直接連携でき、より生産性の高い業務を実現します

固定資産奉行クラウドは、既に数多くのクラウドサービスとAPIによる直接連携を実現しています。これらと組み合わせて運用いただくことで、すぐに業務の生産性を向上できます。

各サービスとの連携内容は、WEBでご確認いただけます。

APIコネクティブライブラリ <http://www.obc.co.jp/bugyo-cloud/apiservice> APIコネクティブサービス 検索



奉行クラウドなら、すべての経理業務が つながり、デジタル化できます

奉行クラウドなら、お客様の成長や変化に合わせて、必要な業務領域から選択して、部分的にデジタル化することができます。従来の仕訳処理からはじまる制度会計だけでなく、取引の管理から税務申告まで、シームレスなデータ連携により、すべての経理業務をデジタル化し、企業全体の生産性を向上することができます。

取引管理

日々企業で行われる取引の記録から管理までデジタル化でき、会計処理にデータが繋がる。

証憑のデジタル化

紙や電子取引で受け取った領収書や請求書などのデータを、まとめて電子データで管理。また、AI-OCRにも対応し、取引データを自動記録することで、デジタルを前提とした証憑管理業務に対応。

領収書 納品書 請求書



証憑データ

制度会計 管理会計

伝票入力から管理会計帳票の作成まで、一連の制度会計・管理会計業務を自動化。

証憑の電子保管・ペーパーレス化

紙でも電子でも、取引の根拠となる証憑を電子帳簿保存法に沿って安全に電子保管し、ペーパーレス化。



証憑データ

会計帳票

基本的な会計帳票の自動作成はもちろん、電子帳簿保存法に対応し、紙保管が不要に。

部門配賦

部門実績の配賦をワンクリックで自動化。手間なく部門別損益の把握が可能に。

個別原価計算*

複雑な個別原価計算に対応し、共通費も含めた正確な個別原価管理を自動化。

※勘定奉行クラウド[個別原価管理編]の場合

管理会計帳票

非会計情報を取り込んだExcelの自帳票を自動作成。加工作業が不要に。

資金繰り

内訳まで分かる資金繰り表を自動作成し、資金不足を未然に防止。

財務分析

財務諸表から構成グラフや収益性・安全性・生産性などの分析を自動作成。

決算書

日々の仕訳入力だけで決算報告書やキャッシュ・フロー計算書を自動作成し多忙な決算時期をサポート。



財務データ

別表16

税務申告

申告書を自動作成。電子申告で社内いながら業務を完結できる。

消費税申告書

申告書の自動作成はもちろん、課税対象明細を確認できる帳票も自動作成。



法人税・地方税申告のデジタル化

勘定科目内訳書

会計データから勘定科目内訳書を自動作成。



法人税申告書

会計データから法人税申告書に自動転記し、手入力が激減。電子申告にも対応。



地方税申告書

市区町村民税率の自動計算に対応し、正確でミスのない申告業務を実現。



取引情報のデジタル化

銀行取引

インターネットバンキングのデータを連携し、入出金情報を会計システムでいつでもチェック。

インターネットバンキング
FBデータ

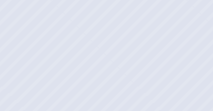


入出金データ

小口現金・立替精算

経費の支払いはキャッシュレス化で小口現金が不要に。さらに、経費の利用・精算の仕訳を自動起票。

キャッシュレス
利用明細



経費の利用・精算データ

固定資産

資産情報の管理から複雑な減価償却費を自動計算し、一連のライフサイクルの管理と、固定資産に係る仕訳起票をデジタル化。



資産購入・売却、
減価償却データ

その他取引

社内で作成・管理しているExcelファイルを学習し、取り込むだけで仕訳を自動起票。

発注明細表
部門経費一覧表
売上明細表



費目データ

他システムから出力したCSVファイルの取り込みや、APIを使った連携に対応。

他システムデータ



仕訳データ
マスターデータ

仕訳伝票の自動起票

経理を取り巻く様々な取引データから仕訳の内容を学習し、自動起票。もちろん、従来の振替伝票形式の入力作業も可能。



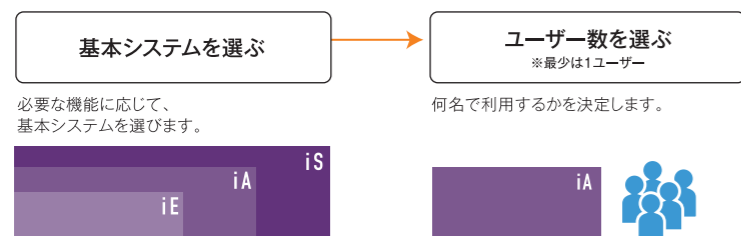
すべてのデータは税理士と共有

システム構成の選び方

機能性や利用ユーザー数に応じて、企業に合ったシステムを選択できます。



選び方



Point

導入後でも、システムアップやユーザー数追加は、いつでも簡単に行うことができます。企業の変化・成長に合わせて最適なシステム構成で使い続けていただけます。

システム選定チェック

固定資産奉行クラウドは、お客様が利用する機能に合わせて3つのシステムをご用意しています。必要な機能やデータ量に応じて最適なシステムを選定いただけます。

	データ容量	機能
Sシステム P11.14	資産件数 1,000件まで	リース資産管理 多様な会計処理へ対応 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リース資産管理 <input type="checkbox"/> 減損会計処理 <input type="checkbox"/> 税務・会計ごとの減価償却費計算
Aシステム	資産件数 1,000件まで	全システム共通機能* <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 固定資産管理 <ul style="list-style-type: none"> ・画像、ファイル管理 ・移動履歴管理 ・一部移動/一部除却 ・償却方法変更履歴管理 ・圧縮記帳 ・資産ラベル <input type="checkbox"/> 減価償却費管理 <input type="checkbox"/> 除却/売却 <input type="checkbox"/> 有姿除却/遊休 <input type="checkbox"/> 特別償却/割増償却 <input type="checkbox"/> 資本的支出
Eシステム	資産件数 100件まで	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 固定資産管理資料 <input type="checkbox"/> 注記情報リスト <input type="checkbox"/> 固定資産税申告 <input type="checkbox"/> 部門グループ <input type="checkbox"/> 電子申告 <input type="checkbox"/> 仕訳データ連携 <input type="checkbox"/> 申告データ連携

*固定資産奉行クラウドのすべてのシステムの共通機能です。

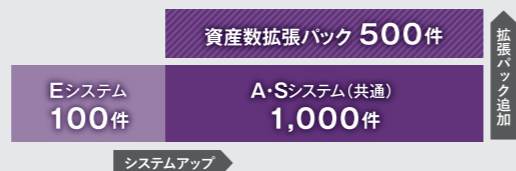
データ容量(資産件数)

固定資産件数とリース資産件数(Sシステムの場合)を踏まえて算出してください。

$$\begin{array}{r}
 \text{固定資産件数} \\
 + \quad \text{リース資産件数 (Sシステムの場合)} \\
 \hline
 = \quad \text{資産件数}
 \end{array}$$

データ容量はいつでも拡張できます。

資産件数が不足した場合は、E→Aとシステムアップすることで、データ容量を拡張できます。Aシステム以上は、500件単位で拡張いただけます。



お客様の業務に合わせた導入支援・サポートでデジタル化の実現を確実に支援します

導入

経験豊かな専任のインストラクターが、お客様に合った運用方法を指導します

導入指導サービス(リモート)

全6時間



リモートツールを使用し、インストラクターがお客様の画面を確認しながらオンラインで指導します。お客様のご要望・状況に応じたスケジュールでご指導させていただくため、短期間で効率よく習得できます。



指導時間はインストラクターと相談しながら柔軟に決められるため、効率よく習得できます

指導時間は、最低2時間から1時間単位で調整が可能です。

本稼働

運用

業務に精通した専門スタッフが、お客様の課題解決や運用を支援します

業務に精通した専門スタッフが、お客様と対話することを重視しながら、确实・迅速に疑問にお応えいたします。お客様が希望されるデジタル運用や、企業の変化や成長に合わせて運用方法をご案内します。



さまざまな方法でお問い合わせいただけます。



*24時間受付していますが、17時以降に受け付けたものは、翌営業日以降の回答となります。

よくあるご質問

お客様よりいただく、よくあるご質問をご紹介します。

Q 利用中のシステムからのデータ移行は簡単にできますか？

A はい、できます。固定資産奉行をお使いの場合は、専用ツールで簡単に移行できます。固定資産奉行以外をお使いの場合は、決められた手順に沿って進めるだけで、迷わず安心して移行できます。詳しい手順については、お問い合わせください。

Q 導入から稼働までにどのくらい時間がかかりますか？

A 固定資産奉行クラウドは、導入してから約1か月で稼働できます。
*データ移行やお客様の運用方法により導入にかかる時間は異なります。

Q 勘定奉行クラウド以外の会計システムとデータ連携は可能ですか？

A 直接連携可能な会計システムは、勘定奉行クラウドのみとなります。他社の会計システムとはCSVファイル連携の対応予定です。

Q 利用中に上位システム(AシステムからSシステムなど)にバージョンアップできますか？

A はい、可能です。バージョンアップ前に、ご利用いただいていたデータをそのまま引き継いで、上位のシステムに移行できます。



1ユーザー 月額 **14,750円** (年額 **177,000円**)

上記は、固定資産奉行クラウドiAシステムを1ユーザーでご利用いただく場合の利用料であり、ご契約は法人単位で年間契約となります。別途、初期費用が必要です(50,000円~)。ただし、固定資産奉行10のOMSS LLS(Long Lifecycle Support)にご加入いただいているお客様が固定資産奉行クラウドに切り替えていただく場合には、初期費用はかかりません。



お客様に安心してご検討を進めていただくために
OBCは”お客様に合ったさまざまな進め方”をご用意しています

詳しい説明を聞きたい

運用方法を相談をしたい

導入を進めたい

徹底解説動画

固定資産奉行クラウドの特長や機能のポイント、実際の操作感をご確認いただけます。

**機能説明だけでなく
デモを交えて
徹底解説!**

QRコードを読み取り、お申し込みください

**オンライン相談
デモサービス**

Face to Faceで会話でき、デモンストレーションで具体的な運用方法を知ることができます。

**システムコンサルタントが
お客様に合った
運用方法をご提案!**

QRコードを読み取り、お申し込みください

お客様無料相談窓口

お電話でサービスの導入に必要な段取りをご案内。見積のご依頼も承ります。

**お客様の要望に合わせ
最適なシステム構成を
ご案内!**

10:00~12:00 / 13:00~17:00
(土曜・日曜・祝日・当社休業日を除く)

お客様無料
ご相談窓口 **0120-121-250**

株式会社 **オービックビジネスコンサルタント**
URL <https://www.obc.co.jp>

販売代理店

(首都圏) 〒163-6030	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー30F	TEL.03(3342)1870(代)	FAX.03(3342)1874
(札幌) 〒060-0003	札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F	TEL.011(221)8850(代)	FAX.011(221)7310
(仙台) 〒980-0811	仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラスタワー20F	TEL.022(215)7550(代)	FAX.022(215)7558
(関東) 〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町1-11-20 大宮JPビルディング12F	TEL.048(657)3426(代)	FAX.048(645)2424
(横浜) 〒220-0011	横浜西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F	TEL.045(227)6470(代)	FAX.045(227)6440
(静岡) 〒420-0857	静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル5F	TEL.054(254)5966(代)	FAX.054(254)5933
(金沢) 〒920-0853	金沢市本町1-5-2 リファール5F	TEL.076(265)5411(代)	FAX.076(265)7068
(名古屋) 〒450-6325	名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F	TEL.052(589)8930(代)	FAX.052(589)8939
(大阪) 〒530-0018	大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F	TEL.06(6367)1101(代)	FAX.06(6367)1102
(広島) 〒730-0031	広島市中区紙屋町1-2-22 広島トラヴェールビルディング4F	TEL.082(544)2430(代)	FAX.082(541)2431
(福岡) 〒812-0039	福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F	TEL.092(263)6091(代)	FAX.092(263)6099

※記載された内容および製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。※固定資産奉行、勘定奉行、申告奉行、債権奉行、債務奉行、奉行、奉行クラウド、奉行シリーズは、株式会社オービックビジネスコンサルタントの商標または登録商標です。※Microsoft Azureは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標です。※Microsoft Azureのセキュリティの詳細についてはマイクロソフト社のWebサイトでご確認ください。